

頸城

## 大渚山

福永、北沢

【日時】 2013年4月13日(土)～14日(日)

【メンバー】L鈴木 SL渡辺 植島 福永 北沢

## 4/13(日) 晴れ

今回の会山行は長野県小谷村と聞いて私は絶対に行きたいと思った。なぜなら、私の登山の原点は小谷村での経験であるからだ。中学生だった私は沢登りやロッククライミング、スノーシューでの雪山歩きを小谷村で行い、それらの経験が後に山を始めようと思うきっかけとなった。大好きな山スキーで再度小谷村を訪れることができるなんて夢のようで、今回の山行を心から待ちわびていた。

いつもの睡眠時間の半分も寝ていないにもかかわらず、興奮しすぎて目が覚めた。身支度を整え出発し、車を止めてスキーを担いで登り始めた。900m付近でシールをはり、いざ出発と思いきや、車道から林道へ下る斜面で早速バランスを崩してこけた。気を取り直して登っていると、先頭を歩いてもいいよと言われて初めて先頭を歩いてみた。尾根上を登って行けばいいのだが、なんだかとても



1484 付近からの大渚山



腰掛け付きトマハウス

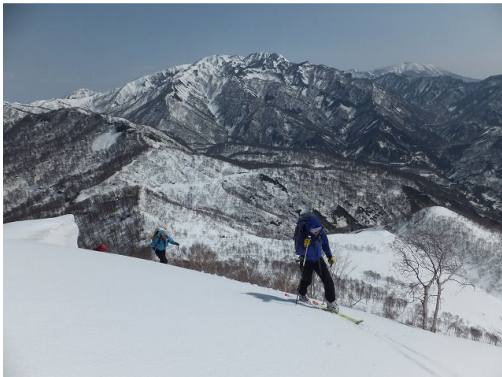
疲れる。その時、鈴木さんにまっすぐに登るのではなく、ジグザグ登ると良いとアドバイスをいただき、実践してみるとあら不思議、疲れずにさくさくと登れたのだった。そうして、尾根を登りきったところで休憩をすると、植島さんが「かき氷を食べよう！」とおっしゃり、鈴木さんのザックの中から出てきた抹茶の粉末をかけ、手作りかき氷をいただいた。初めて山で食べるかき氷はその氷の冷たさ、程よい抹茶の苦さで、病みつきになりそうなくらい美味しかった。

読図の練習といって福永さんと私は鎌池はどっちだと話していると、すぐその辺りだからとりあえず出発しよ



うとリーダーの声が。実際に5分もたたないうちに鎌池が見えてきた。荷物を下ろし、時計を見ると既に11時過ぎていたので、雨飾山の山頂へは行かず、1484mの三角点まで行くことにした。再び先頭を歩き、綺麗な雪上を歩く気持ちよさを堪能した。その時に初めてワッフ音を聞いた。三角点まで行き周りを見渡すと、雲ひとつない快晴の空の下に真っ白い山々がそびえたっていた。気持ちがよく、会山行に来てよかったと幸福感に浸った。シュプールがついていないところを滑った方が気持ちがいいからと、一番先を滑らせていただいた。こんなに幸せでいいのかなあと思ったほどだった。

鎌池に到着し、トマハウスを作った。腰かけ付きのやたらと大きいトマハウスで、2時間もかかってしまった。しかし、小谷温泉に行く途中に取ったふきのとうを天ぷらにしたり、美味しいつまみをたくさん食べて宴をしたら、疲れも吹っ飛び就寝したのであった。(北沢)



#### 4/14 (日) 晴れ

パリパリになっていなかったら早出をしよう和前夜話していたが、しっかり朝食をとって、トマハウスの屋根を剥がしたり荷物をまとめていたら、起きてから3時間も経ってしまった。クトーをつけて目の前の斜面を慌てて登る。林道に出ると湯峠まで西に1キロ強。林道は平坦なので、出発の遅れを取り戻す勢いで皆急いで歩く。青空に大渚山が映える。湯峠の先で一本。団子になるかもしれないけどねと、クトーを再び装着して大渚山に取り付く。山頂直下、雪庇を巻くように怖々と回り込むとブッシュが生えた東側の偽ピークに着いた。10時の交信を本当の山頂でするべく鈴木さんは急ぐ。左手に北アルプスの山々、右手に雨飾山を見ながら東から西へ悠々と頂上散歩。何にもない真っ白な山頂から雨飾山に向かって手を振ったが、雪稜パーティからは見えなかったようだ。さて北面に滑りだすが、雪が重くて足をとられる。狙いを定めて崖下を巻くように東へトラバース。せっかくの斜面を全てトラバースするのも勿体ないと150mくらい滑り降り、湯峠には少し登り返して林道に出た。林道途中で、鈴木さんと北沢さんはFacebook用とか言いながら、面白ポーズで写真撮影。私は植島さん一押しのパッションフルーツのお酒でかき氷を楽しんだ。鎌池BCでデポをピックアップし下山開始。もうすぐ終点という斜面で、木下さんの縦走パーティと一緒に小谷温泉の裏手に滑り込んだ。(福永)



大渚山北面から湯峠へ

**【行程】**

4/13(土)小谷温泉(8:20)～尾根取り付き(8:45/9:15、900m)～鎌池BC(11:00/11:25)～  
1484m付近(12:35/13:10)～BC(13:55)

4/14(日)鎌池(7:30)～湯峠(8:10)～大渚山(10:00)～湯峠(11:50)～  
鎌池BC(11:40/12:30)～小谷温泉(13:45)

**【地図】** 雨飾山



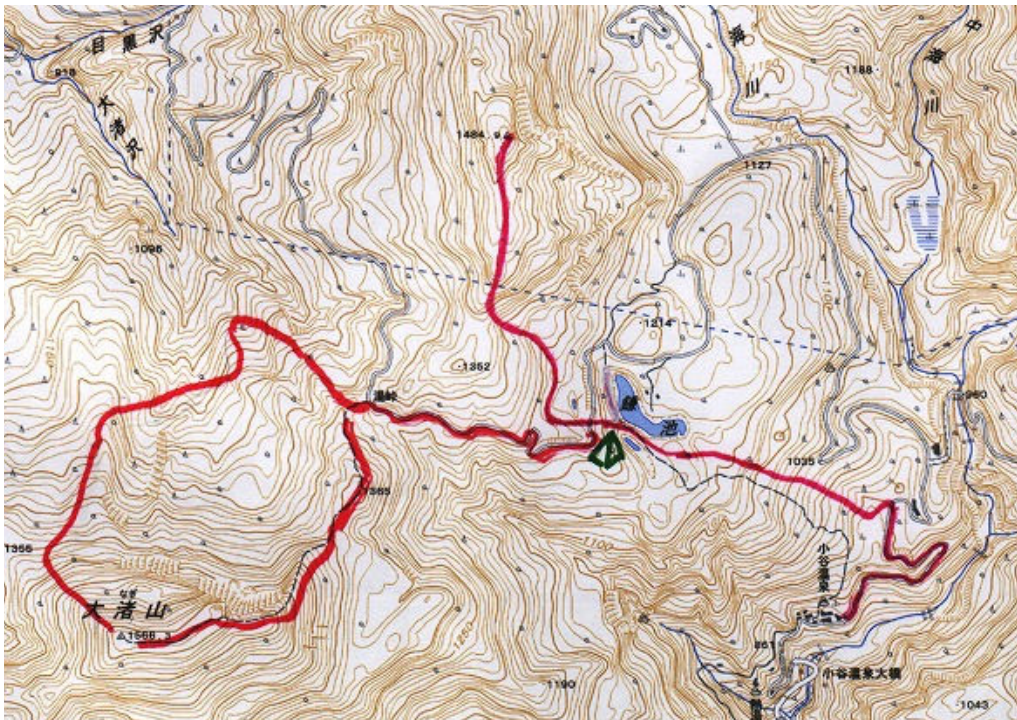
**大渚山山頂**



**大渚山を食べちゃう！**



Photo:suzuki



概念図：鎌池BC～P1484、大渚山（北面）～小谷温泉